

【都市整備課所管 再評価審議資料】

- 再評価対象箇所一覧表 p 1

- 平成 2 8 年度 再評価実施箇所
 - 街路事業 p 2
 - 6) (都) 岐阜駅城田寺線 p 3 ~ 1 9

平成28年度 再評価対象箇所一覧表 8月8日審議箇所

[都市建築部 都市整備課]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要			全体事業費		実施済み額		進捗率	経過年数 (H28.3現在)	政策との位置付け	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化及び地元の意向	環境との調和への配慮事項	事業費縮減	費用対効果分析	対応方針(案)	特記事項
						全体事業量 (km)	実施済事業量 (km)	事業実施率	(百万円)		(百万円)		(%)									
									用地補償費	用地補償費	用地補償費	用地補償費										
									工事費等	工事費等	工事費等	工事費等										
6	街路事業	(都)岐阜駅城田寺線 早田大通工区	岐阜市	H24	H32	0.52	0.00	0.0%	4,520	1,860	41.2%	5	都市の骨格を形成する街路事業の推進	-	東海環状自動車道(仮称)岐阜IC開通に向けての整備推進	排水性舗装および透水性舗装の採用 LED照明採用	路床改良方法の見直し	1.5 (-)	継続			

費用対効果分析:()は前回再評価時の投資効果率

平成28年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 都市整備課

○事業制度について	事業名	街路事業
	事業目的	都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図り、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与すること
	採択基準	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の日常生活の安全性若しくは利便性の向上を図るために必要であり、又は快適な生活環境の確保若しくは地域の活力の創造に資すると認められるものであること。 ・公共施設その他の公益的施設の整備、管理若しくは運営に関連して、又は地域の自然的若しくは社会的な特性に即して行われるものであること。
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	概要 (メニュー)	<p>都市計画決定された道路（都市計画道路）を整備する事業で「都市計画法」に基づき、主に既成市街地（用途区域）内において実施する次のもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の拡幅や線形改良またはバイパス等の建設 ・鉄道の連続及び単独の立体交差化（踏切除却など） ・交通結節点整備（駅または駅前広場など） ・電線類の地中化（電線共同溝など）
	効果の項目	<p>うち貨幣換算する項目 ≪B≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行時間短縮便益 道路の整備・改良が行われない場合の総走行時間費用から、道路の整備・改良が行われる場合の総走行時間費用を減じた差 ・走行経費減少便益 道路の整備・改良が行われない場合の走行経費から、道路の整備・改良が行われる場合の走行経費を減じた差 ・交通事故減少便益 道路の整備・改良が行われない場合の交通事故による社会的損失から、道路の整備・改良が行われる場合の交通事故による社会的損失を減じた差 <p>その他項目</p>
	費用 ≪C≫ の算定	<p>費用の算定＝道路整備に要する事業費＋維持管理に要する費用 ここで、道路整備に要する事業費とは工事費、用地費、補償費、間接経費である。 費用及び便益の前提</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討年数：50年（道路施設の耐用年数等を考慮して設定） ・基準年次：評価時点 ・社会的割引：4%（国債等の実質利回りを参考値として設定）
基準	費用便益比（B/C）が1.0以上	

平成28年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔都市整備課〕

番 号		事業名 (路線・河川名等)	街路事業 (都市計画道路 岐阜駅城田寺線 早田大通工区)
事業実施箇所	岐阜市島栄町～ 岐阜市大字則武中地内		事業主体 岐阜県
採択年度	平成24年度	完了予定年度	平成32年(事業認可：平成29年度)
再評価の実施基準	事業着手年度から5年間が経過した時点で継続中の事業（経過措置）		
事業目的	<p>(都)岐阜駅城田寺線は、岐阜駅前から城田寺地区を繋ぐ延長約5,860mの都市計画道路であり、岐阜市中心部と岐阜市北部を結ぶ幹線道路として都市計画決定されている。忠節地区、岐阜大学への路線バス等様々な交通機能が集中する交通結節点機能を有する道路であり、岐阜市の都市計画マスタープランでは、将来的には、東海環状自動車道（(仮称)岐阜IC）と岐阜市中心部を結ぶ岐阜市内の南北基軸としても位置づけられている。当該事業はこのうち岐阜市島栄町～岐阜市大字則武中地内の約520m区間を4車線化整備するものであり、東海環状自動車道（(仮称)岐阜IC）へのアクセス向上、安全で円滑な交通の確保、災害時に有効に機能するネットワークの確保を目的としている。</p>		
事業概要	<p>計画延長 L = 520m 計画幅員 一般部 W = 25.0m (3.25m×4車線 自転車歩行者道設置)</p>		
概要図			

事業再評価

都市計画道路 岐阜駅城田寺線 早田大通工区

岐阜県 都市整備課
平成28年8月

政策との位置づけ

長期構想における政策の方向性のひとつである『新たな「成長・雇用戦略」の展開』に沿って、『にぎわいあふれるまちづくり』を目標とする。



集約型都市構造の構築を目指すなど、人口減少時代に対応した拠点性の高い、にぎわいあふれるまちづくりを進める。



主要施策

○都市の道路交通の円滑化

- ・都市の骨格を形成する街路事業の推進

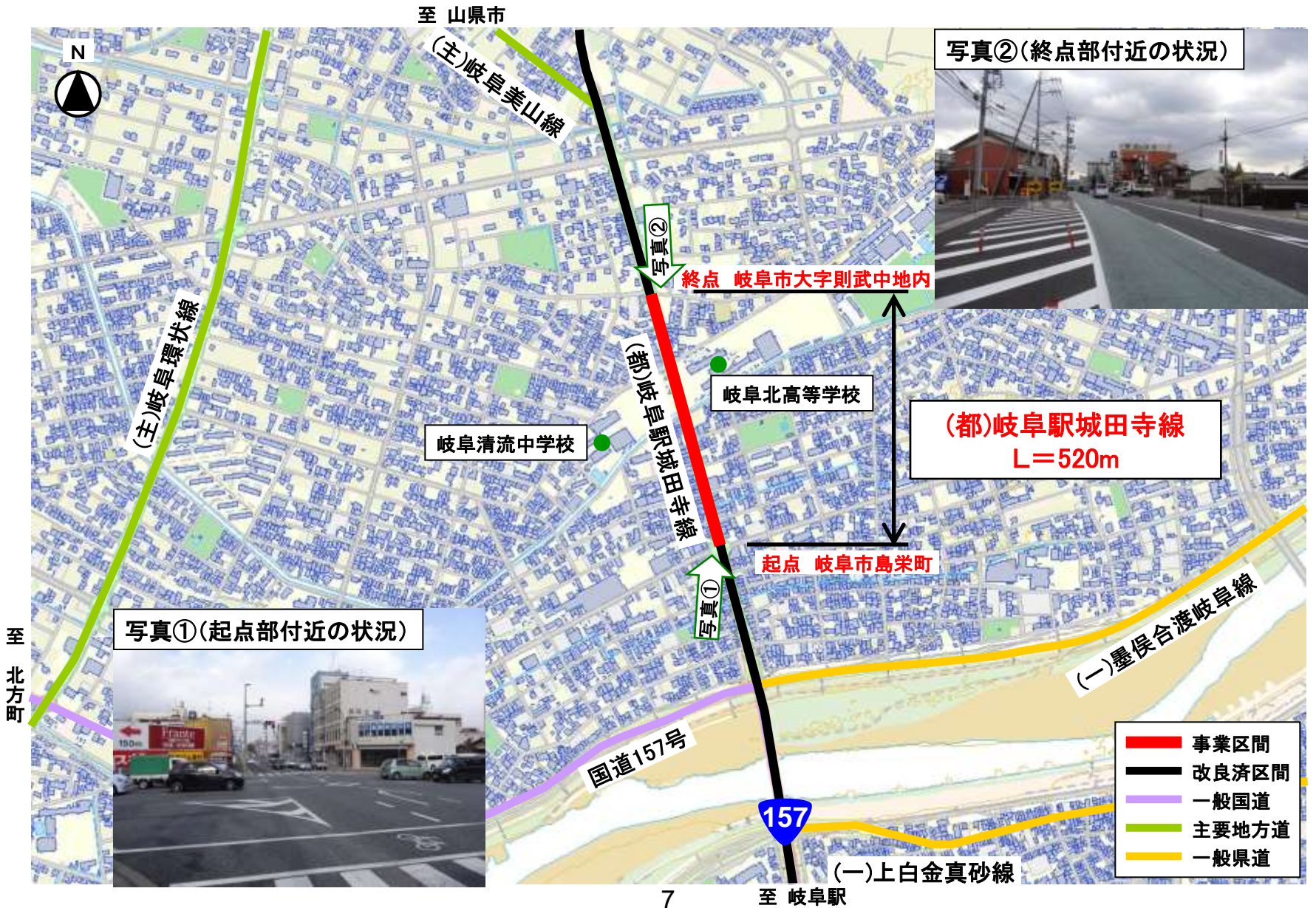
○拠点性の高い都市の形成

- ・都市機能の集約化を図る市街地整備への支援
- ・地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりへの支援

位置図 ①



位置図 ②

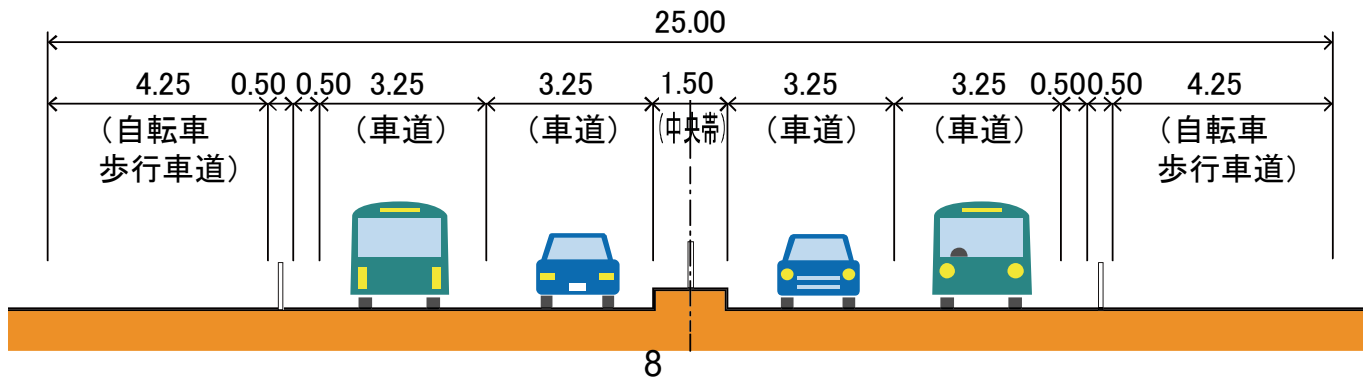


事業概要

- ◆ 起 終 点 : ぎ ふ し し ま さ か え ま ち 岐阜市島栄町～ぎ ふ し お お あ ざ の り た け な か 岐阜市大字則武中地内
- ◆ 全体延長 : 5 2 0 m
- ◆ 総事業費 : 約 4 5 . 2 億円
- ◆ 事業着手 : 平成 2 4 年度
- ◆ 完成予定 : 平成 3 2 年度 (事業認可 : 平成 2 9 年度)
- ◆ 幅 員 : 車道 3 . 2 5 m × 4 車線
: 自転車歩行者道 4 . 2 5 m (両側)
- ◆ 道路規格 : 第 4 種 1 級

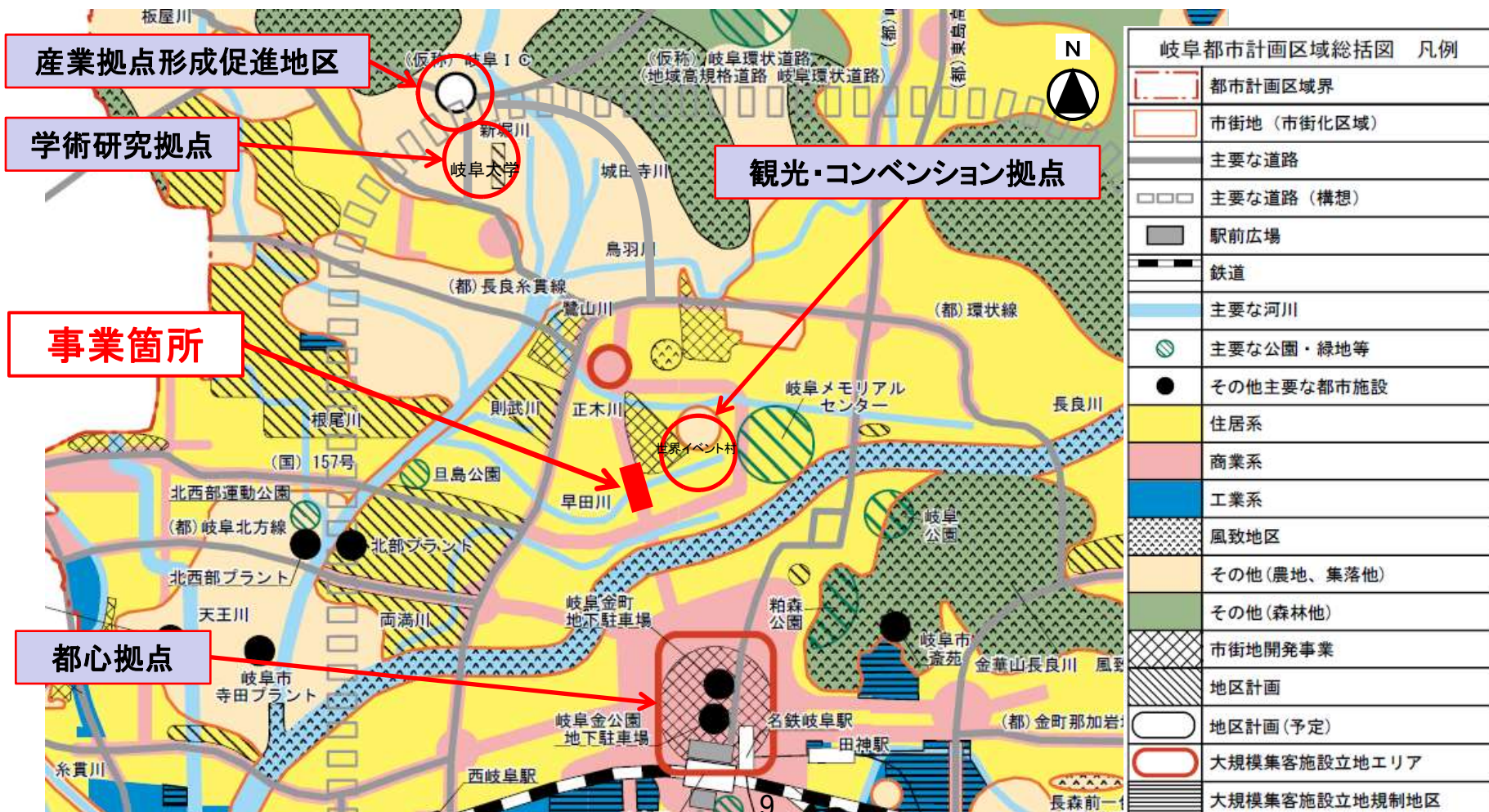
標準横断面図

(一般部)



周辺環境 都市計画の状況

- 岐阜市中心市街地から北西方面へ移動の際、忠節橋通過後の車線数減少による混雑が発生
- 岐阜市北西部には東海環状自動車道(仮称)岐阜 I C が建設予定
- (仮称)岐阜 I C の周辺は、学術・研究地区、産業拠点形成促進地区に位置付け
- 本工区周辺は地域生活拠点候補地に、国際会議場周辺は観光・コンベンション拠点に位置づけ



事業の目的①

◆東海環状自動車道(仮称・岐阜IC)とのアクセス向上

- (都) 岐阜駅城田寺線は岐阜市中心市街地と(仮称)岐阜ICを結ぶアクセス道路として機能
- 東海環状自動車道・(仮称)岐阜ICとのアクセスによる交通量の増加を4車線化により円滑化

東海環状自動車道・(仮称)岐阜ICへのアクセスルート

- ・正木古川東交差点以北では、都市計画道路の整備により、複数ルートを確認
- ・正木古川東交差点以南では、(都)岐阜駅城田寺線のみ

交通増加による混雑が想定される

(都)岐阜駅城田寺線の4車線化により、交通の円滑化

現状 交通量:22,660台/日, 混雑度:1.51

将来 交通量:24,900台/日, 混雑度:0.84



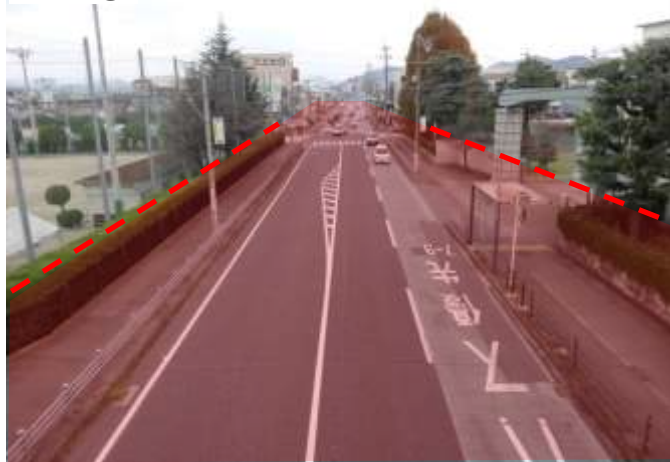
※中活区域:岐阜市中心市街地活性化基本計画区域の略称

事業の目的③

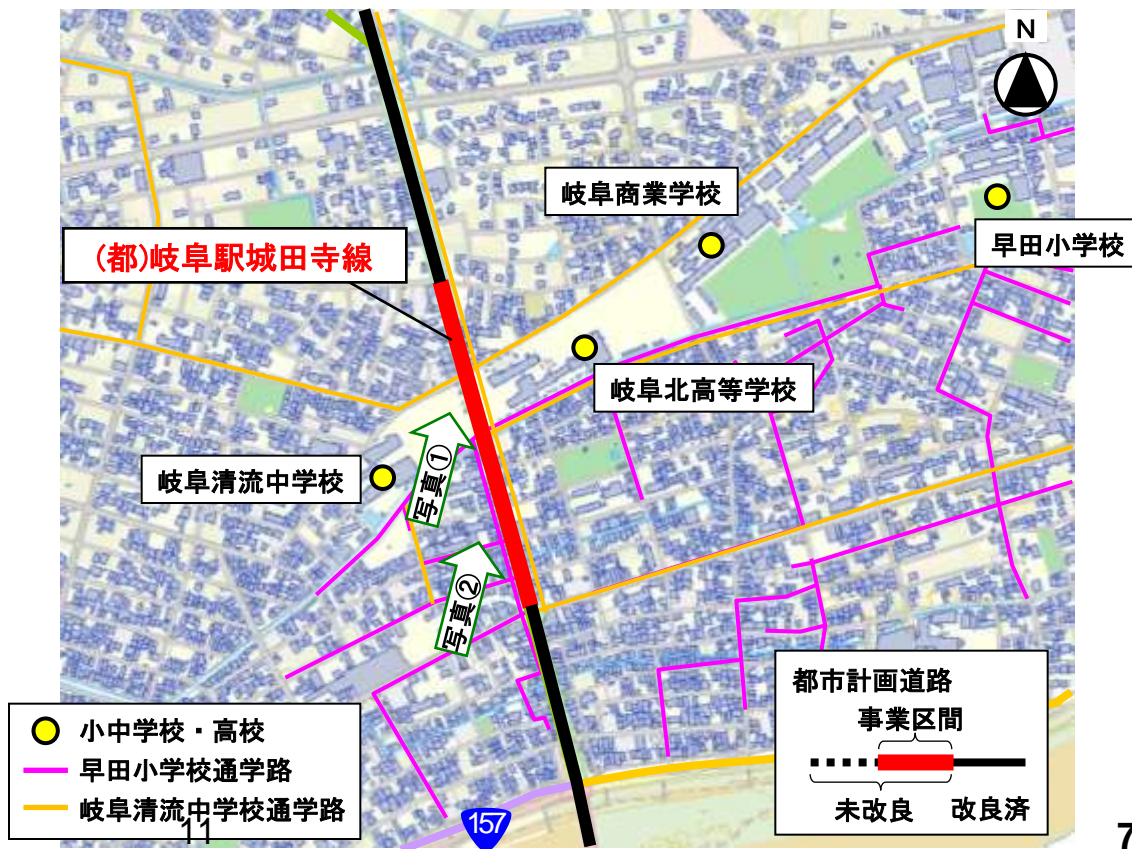
◆安全で快適な歩行空間の確保

- 事業区間は、早田小学校、岐阜清流中学校の通学路に指定
- 岐阜北高校、岐阜商業高校が立地し、自転車の通行も多い
- 「自転車及び歩行者専用」標識があり、歩道上で歩行者と自転車が交錯する
- 本工区の整備により、歩道幅員が十分に確保され、安全で快適な歩行空間を確保

写真①



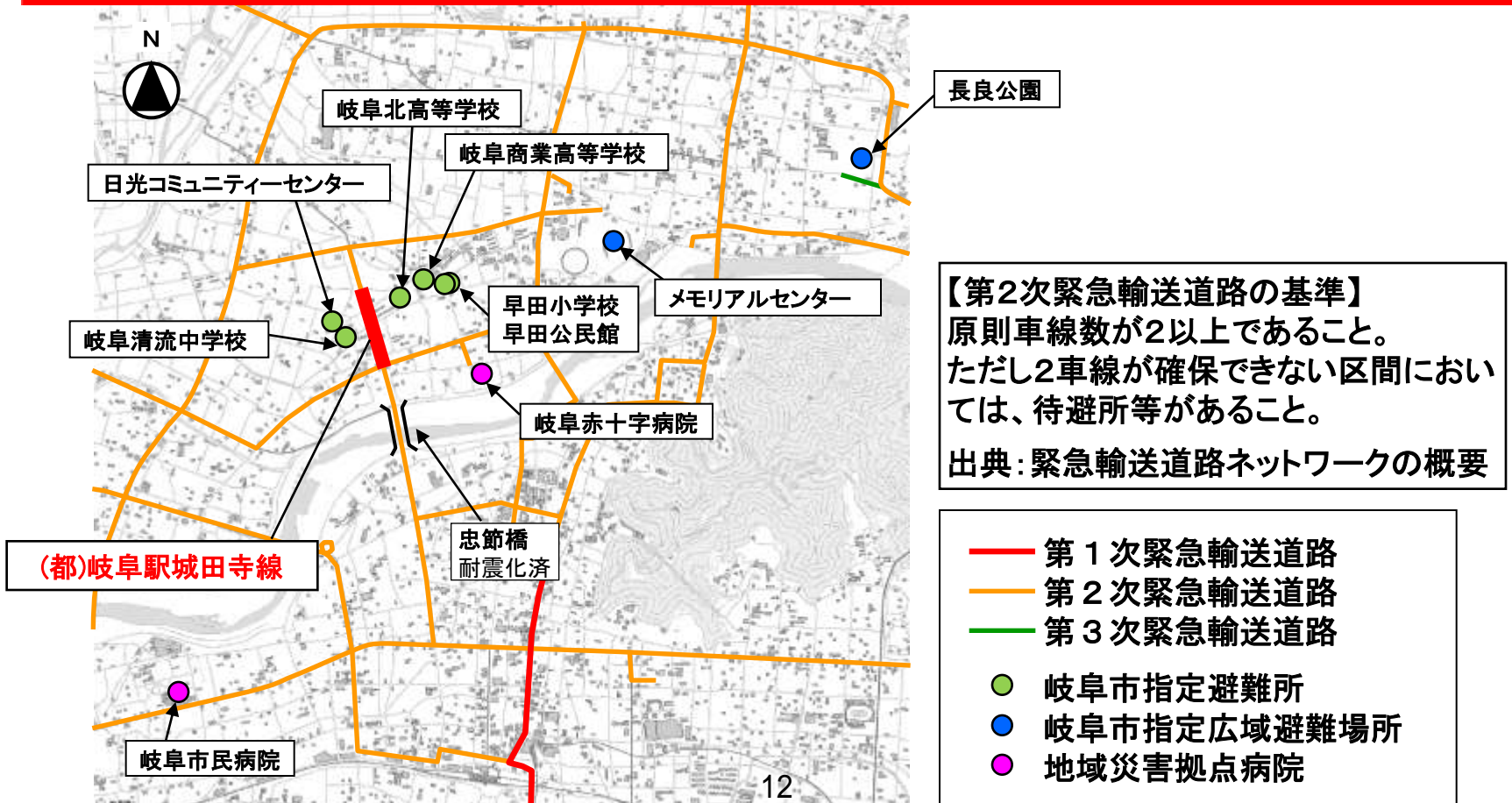
写真②



事業の目的④

◆災害時に有効に機能するネットワークの確保

- (都) 岐阜駅城田寺線は第2次緊急輸送道路に指定
- 本工区の4車線化により、岐阜市中心部付近まで連続した4車線区間の確保
- 無電柱化による災害に強い道づくり



費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 75%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 18%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 7%

投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.5$$

※費用便益分析マニュアル（国土交通省H20.11）に基づき算出

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 平成32年度までの全線開通を目標に東海環状自動車道の整備が進められている
- (仮称)岐阜ICのアクセス道路として、国との足並みを揃えた整備の必要がある



事業の進捗状況

全体進捗率 41%

(工事費 0.0%、用地補償費 42.3%)

平成27年度末事業費ベース

写真①



写真②



写真③



写真④



終点 岐阜市大字則武中地内

(都)岐阜駅城田寺線

都市計画道路
岐阜駅城田寺線
L=520m

起点 岐阜市島栄町

都市計画道路
事業区間
未改良 改良済

コスト縮減や代替案の可能性

◆路床改良方法の見直しによるコスト縮減

■路床改良方法としてセメント安定処理工を採用することにより、

約10百万円のコスト縮減

【従来】路床：山土置換



⇒山土購入費、置換費、残土運搬・処理費

- 置換土(購入費)が必要
- 置換により発生する残土の運搬・処理費が必要

【変更】路床：セメント安定処理



⇒セメント購入費、スタビライザー混合費

- 必要強度を発揮する改良厚に設定可能
- 現場改良のため残土の運搬が不要
- 経済的な舗装のCBRが設定可能

環境面への配慮

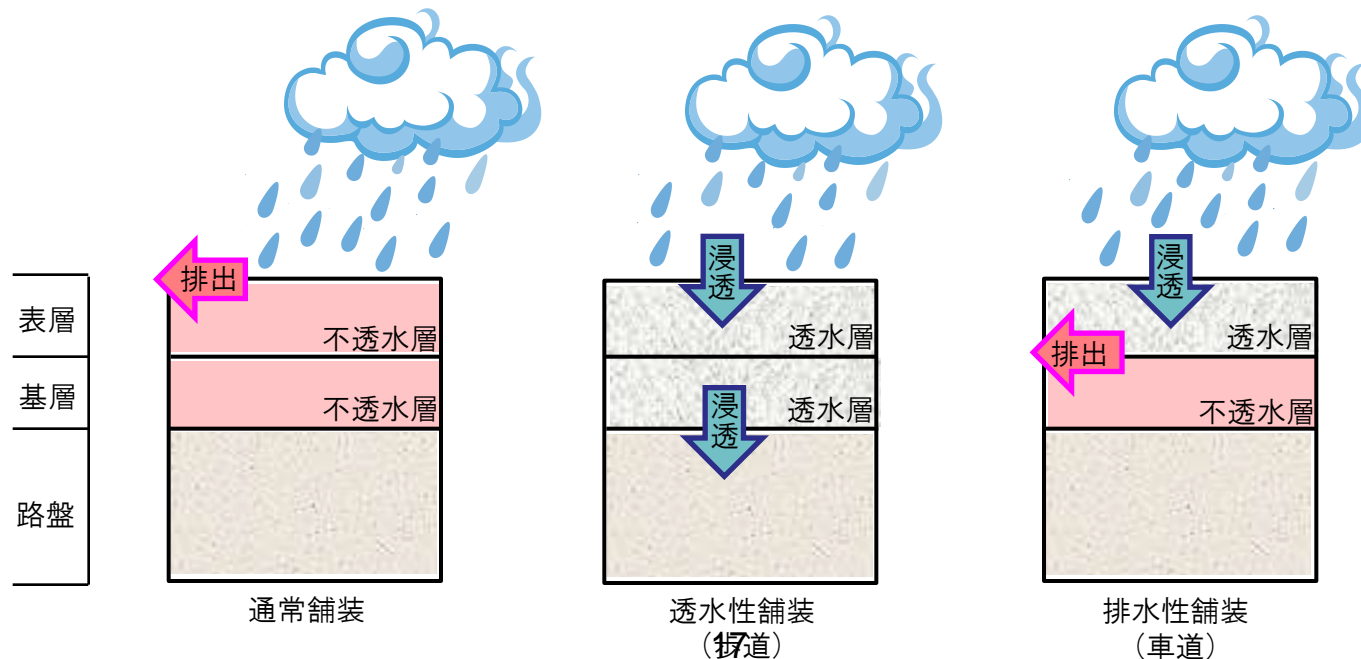
◆排水性舗装(車道)と透水性舗装(歩道)の使用

■排水性舗装(車道)

- ・車両の走行に伴う騒音を低減
(ハイドロプレーニング減少の防止、水しぶき等の緩和・視認性の向上にもつながる)

■透水性舗装(歩道)

- ・雨水が直接地中内部に浸透 → 地下水の涵養



環境面への配慮

◆ LED照明の採用による環境への配慮

- 長寿命かつ低消費電力であるLED照明を採用
- 蛍光ランプを用いた場合に比べ環境負荷を低減



対応方針(案)

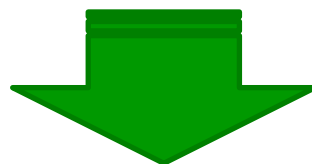
(都)岐阜駅城田寺線 早田大通工区の整備は

- ・東海環状自動車道(仮称・岐阜IC)へのアクセス向上
- ・安全で快適な歩行空間の確保
- ・周辺道路の混雑緩和、円滑な交通の確保
- ・災害時に有効に機能するネットワークの確保

に大きく寄与

事業に対する要望

土地区画整理事業や市街路事業による協力



= 4車線化に向け、事業継続 =